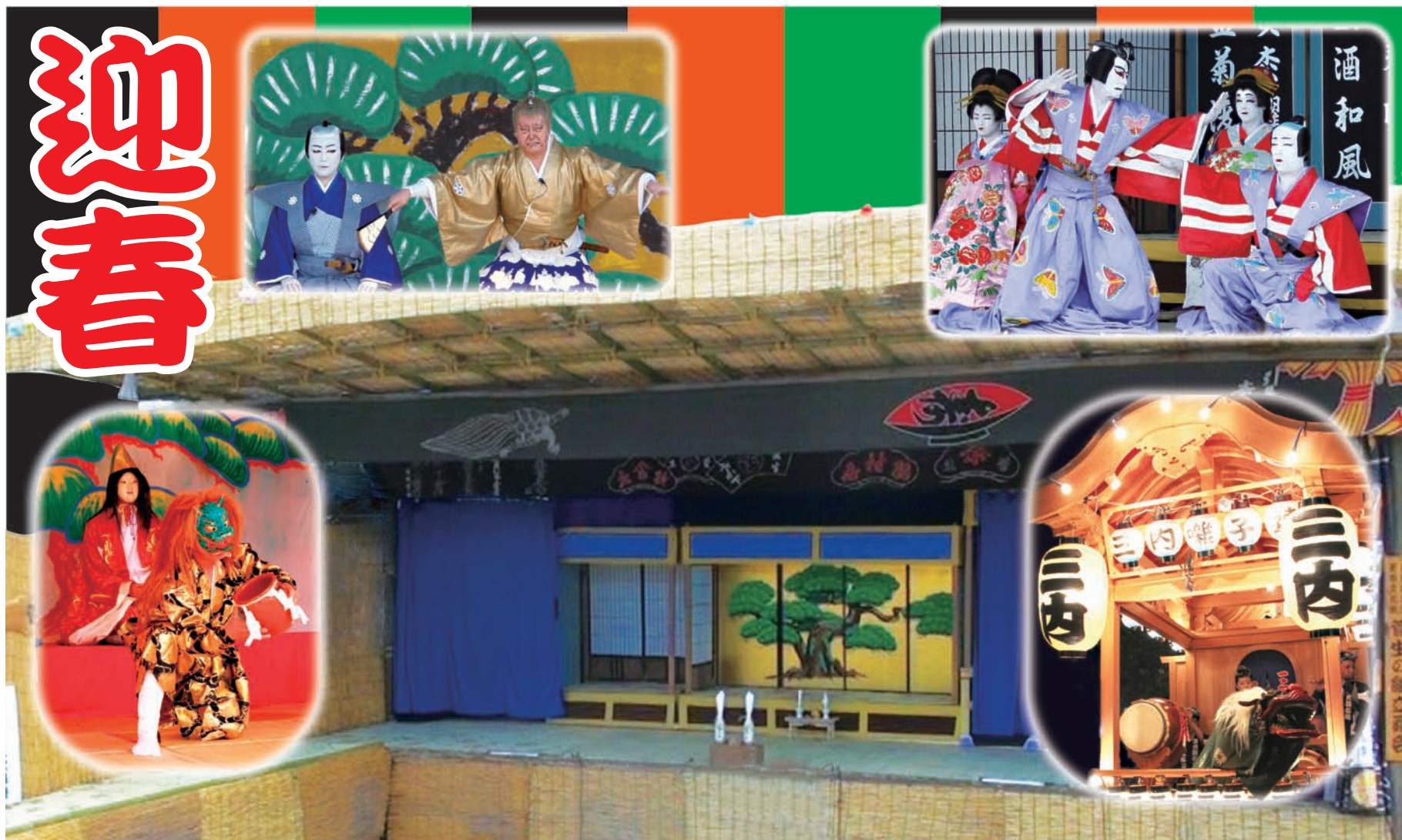




発行 あきる野市 〒197-0814 あきる野市二宮350 編集 企画政策部市長公室 (☎042-558-1111) ホームページ <http://www.city.akiruno.tokyo.jp/>

今号の主な記事 (特集記事) 市制施行20周年記念映画撮影快調、あきる野フィルムコミッション……………2・3面  
消防団出初式のご案内……………4面 地域防災計画(雪害編)(案)に対する意見募集……………4面 1月の休日医師診療と歯科診療……………4面



市制施行20周年を迎える節目の年に、都内で唯一の地芝居(農村歌舞伎)の伝承地である当市で、「全国地芝居サミット」が5月2日(土)・3日(日)、秋川キララホールとその周辺で開催されます。このサミットでは、菅生組立舞台保存会によって保存・伝承されている八間の大きな舞台が組み建てられ、秋川歌舞伎保存会と菅生歌舞伎菅生一座の公演が行われます。

また、市では、地芝居のほかにも囃子や獅子舞、神楽など、さまざまな郷土芸能が古くから伝承されてきました。まさに郷土芸能の宝庫というべき土地柄で、これらの芸能は、各地域の祭礼で奉納され、祭りを盛り上げています。このサミットでは、囃子や神楽なども披露され、サミットに華を添えます。

※「全国地芝居サミット」とは、毎年、地芝居の伝承されている土地で開催されているイベントです。ご当地の地芝居をはじめ、郷土芸能などが披露され、今年が25回目の開催となります。

(写真 全景…菅生組立舞台、左上…秋川歌舞伎、右上…菅生歌舞伎、左下…野辺神楽、右下…三内囃子)

謹んで新年の  
ご挨拶を申し上げます



市民の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと心から喜び申し上げます。旧年中は、市政に對しまして皆様のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

昨年は日本各地で自然災害が発生し、改めて防災の重要性を認識したところです。また12月には、衆議院の解散総選挙が行われ、何かと慌ただしい年の瀬でした。

明けて今年も、あきる野市が誕生して20年という節目の年です。平成19年の市長就任以来、「人と緑の新創造都市」の実現に向けて「環境」と「観光」のまちづくりを基本とし、地域にとって、住む人にとって誇れるあきる野市にしたいとの思いで、行政と市民が共に知恵を出し合い行動する「市民と協働のまちづくり」に取り組んでまいりました。

同時に行財政改革にも積極的に取り組み、効率的・効果的な行政運営に努めてきた結果、財政調整基金への積み増しや将来負担比率の改善がされております。今年も、更なる行政改革を推進してまいります。

さて、今年も、市制施行20周年の記念事業として、さまざまな計画をしております。5月には全国地芝居サミットの開催、7月には人気テレビ番組「開運!なんでも鑑定団」の公開収録、8月の式典には市の魅力を紹介する映画の上映などを予定しております。市民の皆様と共に、盛大なお祝いをしていきたいと考えておりますので、ご協力、ご参加をお願いいたします。

また、未来に向けて、豊かな自然と先人たちが創造してきた素晴らしい歴史・文化を有するこのあきる野に、誰もが「ここに住んでみたい」「ここで子育てしてみたい」「本当に住んでよかった」と感じられるよう「子どもが主役のまち」「ふるさとと呼べるまち」づくりを進めていきたいと考えております。

本年もなお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとって希望に満ちた、飛躍の一年となりますようお祈り申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

あきる野市長 白井 孝